

住基カード交付手数料
住民基本台帳カードは2月未で736枚交付しているが、普及のため3年間に限り無料化する。

19年度一般会計決算に係る財政状況を地方財政健全化法に基づき、実質赤字比率を初め4つの指標を公表する。
20年度からは基準数値によって財政健全化計画の策定も義務づけられる。指標の公表に当たってはわかりやすく周知したい。
20年度当初予算については、合併特例債な

国保特別会計補正予算
算において、国保税滞納者への徴収の対応で行き過ぎはなかった。また、滞納処分になる前に、直接、滞納者と面談できなかったか、との質疑があり、国保税滞納者には、国税徴収法に従って進めており、行き過ぎはない。納税の誠意の見られない方には給与照会等を行っている。また、これからは滞納者との面談を主に納税のお願いをしていきたい、との答弁があった。

ど有利な起債であったも将来の財政負担がある。事業の選択は、その時々で財政状況を踏まえ、必要性等を十分精査し慎重に対応したい。
厳しい財政状況に対して
経常経費の10%削減、人件費の抑制など改善に努めており、こうした状況の市民への説明を検討している。
檜山地域の拠点施設
は地元と市と同方向で整備を目指している。規模や機能について話し合いながら進めたい。
市民サービスセン

ターは利用者の4割が土日、時間外に来ており、6割が買い物ついでに利用している。利便性の向上とジャスコ存続につなげたい。
行政評価
については20年度に組織のあり方を含め、評価の仕組みづくりを検討したい。以上の答弁があった。

総務企画委員会

文教民生委員会

委員会審査報告



建設委員会

環境産業委員会

建設委員会

日影沢最終処分場残余容量測量調査
について、正確な容量の測定がないので残余容量を調査し、今後の埋立期間と埋立計画を策定しようとするものである。同処分場が検討から供用開始まで9年を要していることから、新処分場の建設についても長期間が見込まれ、測

量調査の結果を受けて検討していかねばならないものと考えている、との答弁があった。
し尿処理料金の取り扱い
能代地区のし尿のくみ取りは今後、条例で定める料金の項目を削除し、料金改定に当たっての市のかかわりについて要綱を定め、一定の周知期間を設けて9月をめどに改定したいと考えている、との答弁があった。
能代商工会議所への補助金
について、4月当初に補助金を交付し

量調査の結果を受けて検討していかねばならないものと考えている、との答弁があった。
なかつた場合、一般会員に影響が及ぶことにならないか、との質疑に、一般会員に不利益のないような方策は考えていきたいが、体制が十分に整わない段階での補助金交付については留意したい、との答弁があった。
なお、予算執行に当たっては不正受給の全容解明、同商議所の新しい執行体制の確立、市のチェック機能の構築などに十分配慮してほしい、との委員一致の要望があった。

(穴山)

後期高齢者医療に関する条例の制定に関連して、**高額医療費・高額介護合算制度**について質疑があり、医療費が高額になった世帯に介護保険の受給者がいる場合、年間の自己負担を合算し、限度額を超えた場合、超えた分を申請により支給するもので、対象医療費は20年4月分から、支給開始は21年8月からとなる。原則は申請であるが、高齢者の負担を軽減できる方法を考えたい、との答弁があった。

なお、新年度予算の審査の中で、これから工事の始まる**二ツ井小学校、第四小学校、常盤中学校のグラウンド整備**について、できる限り子供たちが早く使えるように、工事工程の前倒しを検討してほしい、との委員一致の要望があった。

(菊地)

きみまち阪公園の整備計画
等について、景勝地が周辺の樹木によって景観が損なわれているが、整備できないか、との質疑があり、施設整備において、県の直轄になったり、協議が必要であり、一方的に伐採することなどはできない。遊歩道等の整備もあることか

ら、さまざまな要望を収集しながら県へ要望し、地元でやれる分も含めて20年度において方向づけたい、との答弁があった。
水道等整備計画策定
水道施設整備は、総合計画で、水道の効率的な整備という基本目標が掲げられていることから、旧能代市で策定している上水道事業基本計画、旧二ツ井町で策定している全町水道整備計画を一元化しようとするものである。その内容は、基本方針、

整備計画を策定するものである。
生活排水処理構想
合併浄化槽には、個人設置型と市町村設置型があるが、旧能代市にも市町村設置型が可能か、との質疑があり、将来とも下水道事業で整備できない地域は、農業集落排水事業か浄化槽の設置になると考える。こうした地域は市町村設置型を導入することは可能と考えている、との答弁があった。

(田中)